

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や手術の記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ記録や手術記録を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

ピオクタニンブルーエタノール液 2%による形成外科・皮膚科手術部位のマーキングについて

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 形成外科

【研究責任者】 森 秀樹（形成外科 講師）

【研究代表者】 森 秀樹

【研究の目的】

形成外科の手術においては、手術時のデザインのために術前にマーキングを行います。市販されている皮膚用のマーキングペンがありますが、小児の手術などで細かいデザインが必要な場合はマーキングペンでは不十分な場合があります。その場合、ピオクタニンブルーという染色液と細い竹ひごを用いたデザイン方法が一般的に用いられています。

【ピオクタニンブルーについて】

1 ピオクタニンブルー（塩化メチルロザリニン）はトリフェニルメタン色素の一種であり、染色液として汎用されていました。従来口腔内の消毒などに使用されてきましたが、国内では医薬品として市販されていないため、試薬のピオクタニンブルーを用いて院内製剤として作成しています。

【本治療法によって予期される効果および副作用】

手術室における手術患者を対象に皮膚および眼球以外の粘膜のマーキングとし

て使用することで、より正確なデザインが可能になります。眼球粘膜に対しては刺激があるため使用しません。この染色液は時間とともに自然に薄くなります。

【個人情報の取り扱い】

本研究は「個人情報保護法」(平成 17 年 4 月 1 日施行)および「疫学研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省 平成 19 年 8 月 16 日改正)を遵守しています。情報は本登録のため新規作成した「日本形成外科学会疾患登録アプリケーション」で入力・暗号化、復号・集計されますが、高度の暗号化機能を有し、犯罪的行為等で情報メディアが第三者の手に渡っても内容解読は不可能です。

また、姓名、生年月日などの個人情報は登録情報に含まれず、研究対象者である患者さんが不利益を被ることはありません。

< 試料・情報の管理責任者 >

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-096-5350